

第3章

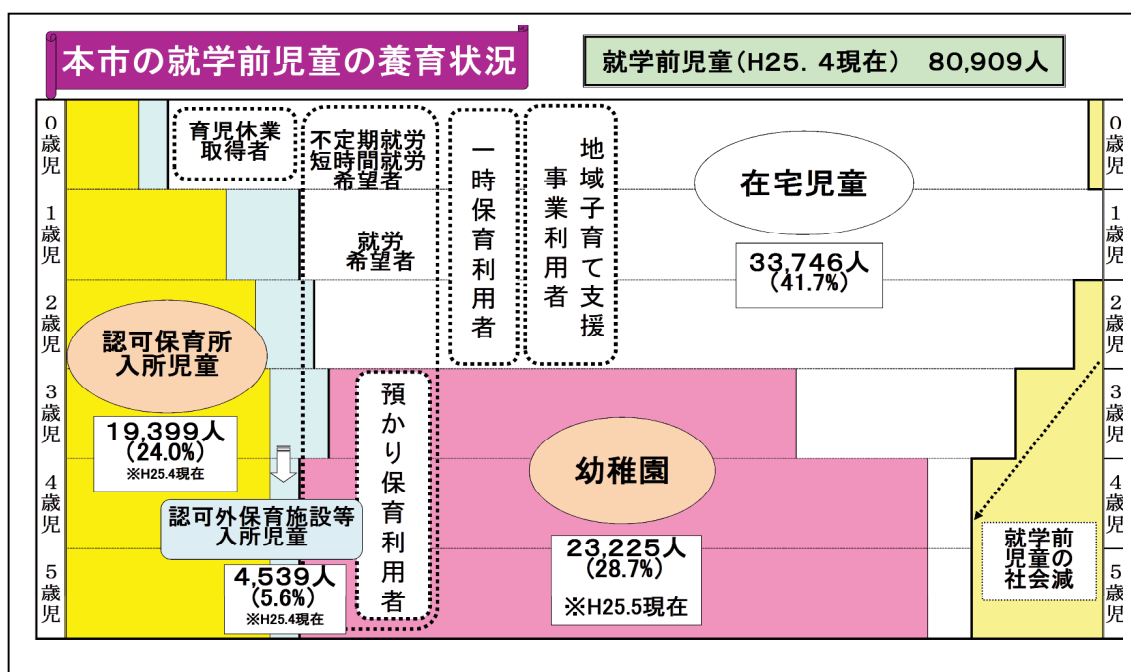
就学前の子育て家庭の状況

1 就学前児童の養育状況 ～子育て支援サービスの利用ニーズ～

本市の就学前児童の養育状況としては、就学前児童全体の約4割が、在宅で子育てされており、認可・認可外の保育所を利用している児童が約3割、幼稚園に在籍している児童が約3割となっています。また、就学前児童を3歳児未満と3歳児以上で見ると、3歳児未満では、在宅で子育てされている児童が約7割、保育所を利用する児童が約3割となっており、3歳児以上では、認可・認可外の保育所を利用する児童が約3割、幼稚園を利用する児童が約6割となっています。

<本市の就学前児童の養育状況>

就学前児童数（H25.4現在）80,909人



注1) 認可保育所・認可外保育施設入所児童は、平成25年4月1日現在の市内在住の入所者数（こども本部調べ）

注2) 幼稚園児数は、平成25年5月1日現在の市内在住の入所者数（こども本部調べ）

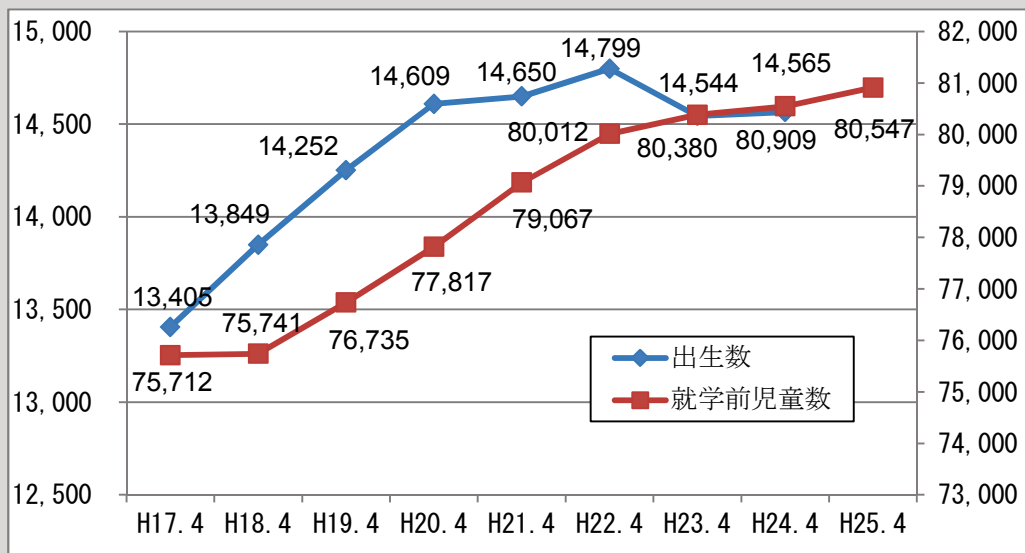
注3) 在宅児童数は就学前児童数から、認可保育所・認可外保育施設・幼稚園の入所者数を差し引いた数値

2 保育所の入所状況 ～就学前児童の増加と保育ニーズの高まり～

本市では、人口の増加に伴い、就学前児童数が増えており、子育てを取り巻く環境の変化や景気の動向、本市の社会動態の影響、親の意識の多様化などの様々な状況から認可保育所の利用を希望する方が増えています。

こうした、保育需要の高まりに適切に対応するため、これまでも大幅な保育受入枠を拡大してきましたが、未だ待機児童の解消には至っていません。

就学前児童数と出生数の推移



<本市の保育所入所状況の推移>

※出生数は当該年の1月から12月の数値（H25は集計中）

	H17.4	H18.4	H19.4	H20.4	H21.4	H22.4	H23.4	H24.4	H25.4
人口	1,307,304	1,322,432	1,345,306	1,370,020	1,389,784	1,404,532	1,411,891	1,417,486	1,423,680
(対前年比較)	10,409	15,128	22,874	24,714	19,764	14,748	7,359	5,595	6,194
出生数	13,405	13,849	14,252	14,609	14,650	14,799	14,544	14,565	
(対前年比較)	▲ 497	444	403	357	41	149	▲ 255	21	
就学前児童数	75,712	75,741	76,735	77,817	79,061	80,012	80,380	80,547	80,909
(対前年比較)	▲ 611	29	994	1,082	1,244	951	368	167	362
(人口構成比)	5.79%	5.73%	5.70%	5.68%	5.69%	5.70%	5.69%	5.68%	5.68%
利用申請者数	13,204	13,505	14,409	15,013	16,384	18,032	19,241	20,725	22,164
(対前年比較)	288	301	904	604	1,371	1,648	1,209	1,484	1,439
(就学前児童比率)	17.44%	17.83%	18.78%	19.29%	20.72%	22.54%	23.94%	25.73%	27.39%
定員数	11,295	11,590	12,250	12,785	13,605	14,675	15,905	17,490	18,995
(対前年比較)	120	295	660	535	820	1,070	1,230	1,585	1,505
入所児童数	11,676	12,034	12,820	13,475	14,430	15,435	16,630	18,074	19,399
(対前年比較)	290	358	786	655	955	1,005	1,195	1,444	1,325
(就学前児童比率)	15.42%	15.89%	16.71%	17.32%	18.25%	19.29%	20.69%	22.44%	23.98%
待機児童数	597	480	465	583	713	1,076	851	615	438
(対前年比較)	▲ 158	▲ 117	▲ 15	118	130	363	▲ 225	▲ 236	▲ 177
(就学前児童比率)	0.79%	0.63%	0.61%	0.75%	0.90%	1.34%	1.06%	0.76%	0.54%

(こども本部 調べ)

3 保育所の利用申請状況 ～1歳児からの保育所利用申請への対応～

本市では、保育所の利用申請者数の増加に適切に対応するため、認可保育所の整備等による大幅な保育受入枠の拡大を図っています。利用申請者数を年齢別で見ると、育児休業制度の普及等に伴い、1歳児からの保育所利用申請者数が増加傾向であるとともに、育児休業期間の満了を待たない0歳児からの利用申請者数が増加しています。

<保育所利用申請者数の推移>

※比率は就学前児童数に対する比率

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H22	就学前児童数	14,094	14,242	13,768	13,065	12,463	12,380	80,012
	保育所申請者数 (比率)	1,700 12.06%	3,582 25.15%	3,557 25.84%	3,321 25.42%	3,004 24.10%	2,868 23.17%	18,032 22.54%
H23	就学前児童数	14,120	13,935	13,837	13,376	12,840	12,272	80,380
	保育所申請者数 (比率)	1,929 13.66%	3,752 26.93%	3,719 26.88%	3,523 26.34%	3,315 25.82%	3,003 24.47%	19,241 23.94%
H24	就学前児童数	13,857	14,048	13,539	13,347	13,085	12,671	80,547
	保育所申請者数 (比率)	1,977 14.27%	4,250 30.25%	3,897 28.78%	3,789 28.39%	3,492 26.69%	3,320 26.20%	20,725 25.73%
H25	就学前児童数	13,886	13,887	13,793	13,224	13,157	12,962	80,909
	保育所申請者数 (比率)	2,232 16.07%	4,420 31.83%	4,309 31.24%	3,944 29.82%	3,762 28.59%	3,497 26.98%	22,164 27.39%

また、認可保育所の定員は、年齢別で設定されており、新設の保育所以外では、各年齢とも入所を継続する児童と定員数との差が、新たな利用申請者の受け入れ可能な保育受入枠となります。

このため利用申請の多い1・2歳児については、定員を超えて児童が入所しているにも関わらず、利用申請者数が入所児童数を上回る状況にあります。

一方、低年齢児と比べて定員数の多い4・5歳児の入所児童数は定員数を下回っています。

本市では待機児童解消に向けた取組として、認可保育所の整備を推進しておりますが、新設の保育所の場合、入所児童の年齢が上がっていくことによる利用枠の確保が必要であり、施設全体の定員を満たすまでには数年を要するため、4・5歳児の定員数に空きのある状況です。

<認可保育所の入所状況（年齢別）>

※比率は就学前児童数に対する比率

平成25年4月

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
就学前児童数	13,886	13,887	13,793	13,224	13,157	12,962	80,909
保育所申請者数 (比率)	2,232 16.07%	4,420 31.83%	4,309 31.24%	3,944 29.82%	3,762 28.59%	3,497 26.98%	22,164 27.39%
定員数 (比率)	1,301 9.37%	2,879 20.73%	3,345 24.25%	3,784 28.61%	3,833 29.13%	3,853 29.73%	18,995 23.48%
入所児童数 (比率)	1,404 10.11%	3,288 23.68%	3,712 26.91%	3,815 28.85%	3,705 28.16%	3,475 26.81%	19,399 23.98%
待機児童数 (比率)	101 0.73%	194 1.40%	100 0.73%	27 0.20%	10 0.08%	6 0.05%	438 0.54%

4 保育所等の設置状況 ～子育て家庭のライフスタイルと利用ニーズ～

就学前児童については、主に、両親が就労等をしている家庭では、低年齢（0歳から2歳）児から認可保育所を利用しています。

また、在宅等で子育てをする家庭では、低年齢（0歳から2歳）児は、地域子育て支援センター等を利用し、3歳児以上からは、幼稚園を利用しています。地域子育て支援センターや幼稚園等の施設は、社会福祉法人、学校法人、NPO法人や株式会社など多様な主体によって運営がなされています。

<区別の施設数等>

	認可保育所								幼稚園		地域子育て支援センター				
	公設公営		公設民営		民設民営		合計		民設		単独型	保育所併設型	児童館型	合計	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	在園児童数					施設数
川崎区	8	825	2	250	21	1,620	31	2,695	19	3,301	1	1	3	4	9
幸区	9	940	1	90	14	1,120	24	2,150	11	3,088	1		3	3	7
中原区	9	765	3	245	40	3,070	52	4,080	14	3,228			3	4	7
高津区	9	880	5	480	23	1,625	37	2,985	10	3,871	1		3	4	8
宮前区	10	995	2	300	14	1,105	26	2,400	11	3,094	2		3	3	8
多摩区	7	640	1	95	26	2,310	34	3,045	13	4,155			2	4	6
麻生区	5	510	1	120	11	1,010	17	1,640	8	2,467	1		3	4	8
合計	57	5,555	15	1,580	149	11,860	221	18,995	86	23,204	6	1	20	26	53

注1) 認可保育所の施設数等は、平成25年4月1日現在（こども本部調べ）

注2) 幼稚園の施設数等は、平成25年5月1日現在（こども本部調べ）

注3) 地域子育て支援センターの施設数等は、平成25年4月1日現在（こども本部調べ）

<運営主体別の施設数等>

認可保育所	川崎市	社会福祉法人	財団法人	学校法人	株式会社	有限会社	NPO法人	宗教法人	合計
施設数	57	82	3	5	68	1	4	1	221
定員数	5,555	8,610	280	365	3,890	100	135	60	18,995

幼稚園	学校法人	宗教法人	個人	合計
施設数	69	10	7	86

地域子育て支援センター	公益財団法人	社会福祉法人	川崎市	NPO法人	学校法人	その他	合計
施設数	10	20	7	12	1	3	53

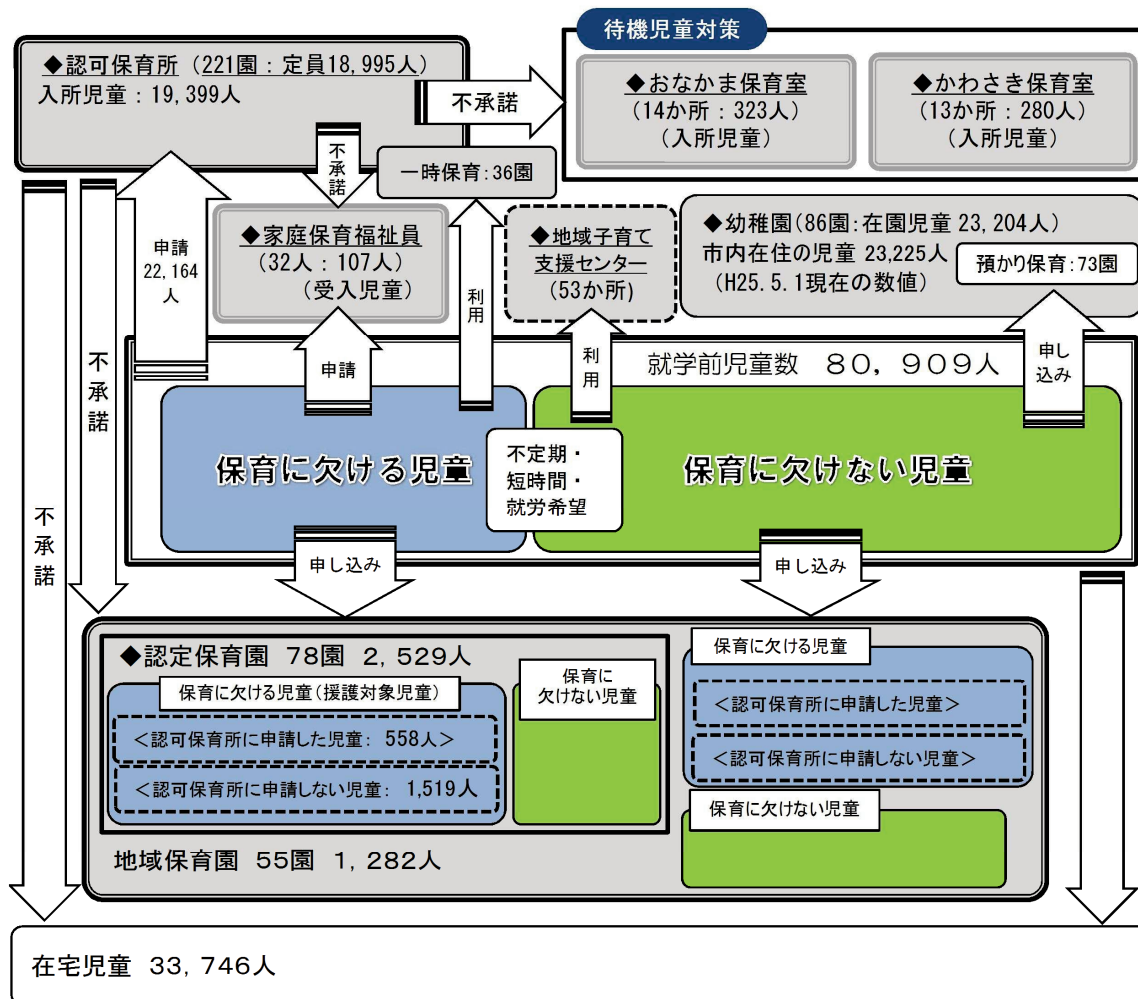
5 保育所等の利用ニーズの状況 ～保育所等の利用ニーズの多様化～

子育てを取り巻く環境が変化中、就学前児童を養育する家庭のライフスタイルや親の価値観は多様化しており、就学前児童の保育所等の利用ニーズも多様化しています。

これらの多様なニーズや子どもを取り巻く社会的な問題に適切に対応するためには、利用を選択する親の視点や次代を担う子どもの育ちの視点に立って、子ども・子育てを社会全体で支える取組を推進していくことが求められています。

<就学前児童の保育所等の利用ニーズの動向>

※数値は、H25.4現在



※かわさき保育室は、本市の認可外保育事業の再構築に伴い、平成25年9月末をもって制度終了としております。